

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		ボランティア交流センター管理運営事業		担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3307	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市ボランティア交流センター条例、深谷市ボランティア交流センター条例施行規則				
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市内のボランティア活動の拠点施設であるボランティア交流センターの維持管理を行うとともに、ボランティア養成事業等を社会福祉協議会へ委託するものである。								
目的 ※何のために		ボランティア活動を支援することにより、協働と支え合いの福祉のまちづくりを推進するため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内でボランティア活動をしている者等。								
手段 ※どのように		市内でボランティア活動を行うものに交流の場を提供するとともに、ボランティアを養成していく。								
成果 ※何を求めるか		市民の方が行うボランティア活動が円滑にできるよう環境を整える。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	ボランティア交流センター管理運営事業	6,058,078
本事業の 主な業務		・ ボランティア交流センターの管理							・	
		・ ボランティア交流センターの運営							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		ボラセンの管理・運営委託	ボラセンの管理・運営委託	ボラセンの管理・運営委託	ボラセンの管理・運営委託	ボラセンの管理・運営委託	ボラセンの管理・運営委託	
事業費	予算（現額）	5,790,000	5,715,000	5,814,000	5,820,000	6,439,000	8,112,000	
	決算額	5,081,451	5,420,616	5,345,956	5,104,065	6,058,078	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,825,009	1,923,913	2,123,396	1,932,637	2,264,673	1,892,000
		一般財源	3,256,442	3,496,703	3,222,560	3,171,428	3,793,405	6,220,000
人件費	従事職員数（人）	0.24	0.35	0.35	0.40	0.47	0.47	
	人件費相当試算※	1,866,960	2,723,700	2,751,350	3,254,400	3,648,101	3,821,734	
総事業費試算		6,948,411	8,144,316	8,097,306	8,358,465	9,706,179	11,933,734	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	ボランティアセンター稼働日数	目標値	日	359	359	360	359	359	359	
		実績値		359	359	360	359	359	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度毎の施設利用可能日数の最大値。 / センターを管理すべき日数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	ボランティア団体延べ利用人数	目標値	人	3590	3590	3600	3590	3590	3590	
		実績値		4191	3965	3977	1867	2227	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1日10人の利用者。 / 利用簿							
	実績値の算出式									
成果指標 2	ボランティア団体延べ利用件数	目標値	件	718	718	720	718	718	718	
		実績値		518	529	564	400	522	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		センター稼働日数×2室 / 利用簿							
	実績値の算出式									
成果指標 3	ボランティア団体登録数	目標値	件							
		実績値		26	26	26	26	24	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		登録数が行政の働きかけにより大きく左右されるものではないため目標値は設定しない。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	センターが稼働している年間の最大利用可能日数を新型コロナウイルス感染防止対策を一部講じながら、ボランティア活動者に提供することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、ボランティア延べ利用人数は、令和2年度の1,867人から2,227人に増加したが、目標値は下回った。ボランティア団体延べ利用件数についても、令和2年度の400件から522件に増加したが、目標値は下回った。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ボランティア交流センターについては問題なく管理運営できている。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、ボランティア活動を支援するため、適切な施設の維持管理を行い、ボランティアの啓発と育成に取り組むことができた。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ボランティア交流センター管理運営事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3307
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		評価の内容説明					
		新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、令和2年度と比較しボランティア団体の延べ利用人数及び延べ利用件数は増加した。引き続きボランティア活動を支援するため、適切な施設の維持管理を行うとともに、ボランティアの啓発と育成に取り組んでいく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	福祉政策課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

